

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ブイ・テクノロジー横須賀計画新築工事	階数	地上3F
建設地	横須賀市光の丘 3811-28、3811-30、3811-31	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年8月17日
敷地面積	5,707 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 横浜支社建築一級建築士事務所
建築面積	1,974 m ²	確認日	2021年8月17日
延床面積	4,968 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 横浜支社建築一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 77%

③上記+②以外の: 77%

④上記+: 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	3.0
温熱環境	2.0
光・視環境	2.8
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.3
耐用性	3.0
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物外皮の	4.3
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源	2.2
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	3.9
地域環境	3.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
既存緑地を活用するとともに、さらに敷地前面に緑地を新設することにより周辺環境の保全と調和に配慮している。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 空調・給排水配管の更新対策に配慮している。また階高にゆとりをもたせ、建物のサービス性能の向上に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
	LR3 敷地外環境 通勤に自動車、自転車の使用が想定されるため、駐輪・駐車台数を十分に確保した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される